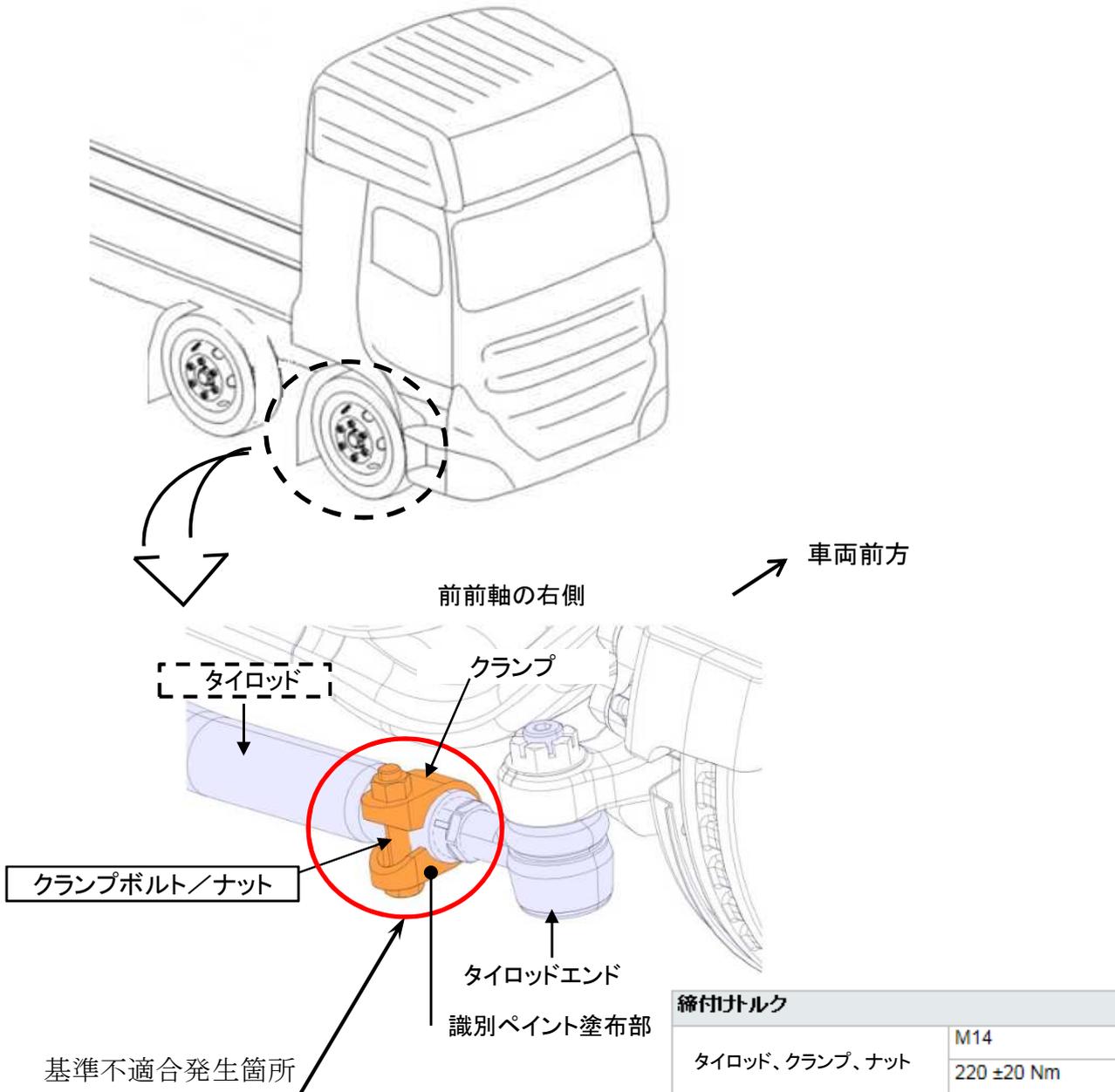


改善箇所説明図③



前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプ締付けボルトのメッキ前処理(酸洗い)工程が不適切なため、水素脆化によりボルトの強度が低下しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ボルトが破断してタイロッドエンド部にガタが生じ、最悪の場合、タイロッドチューブが破損して、操舵不能になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、前前軸右側タイロッドエンドの固定クランプボルト/ナットを対策品と交換する。
なお、ボルト/ナットが損傷または脱落している場合には、タイロッドをアセンブリで交換する。

注： は、交換する部品を示す。 は、必要に応じてアセンブリで交換する部品を示す。
識別：作業完了車には、右タイロッドエンドのクランプ部に黄色又は白ペイントを塗布する。